

まちづくり
戦略

2

だれもが互いに認め合い、 支え合えるコミュニティづくり

少子化や長寿化、家族形態の変化等を背景に、地域の福祉的課題は複雑化、複合化しています。こうした課題を抱えたひとが、地域や社会から孤立することがないように、地域のつながりのなかで、より多くの区民が支え合いにかかわることができる地域づくりが求められています。

中京区の強みである地域力を基盤として、世代や分野を超えて、すべてのひとや団体が、それぞれのくらしや活動のなかで、生きがいをともに作り、お互いを尊重し合うことのできる、だれもが健やかでいきいきと笑顔あふれる地域共生社会の実現をめざします。



とくに、コロナ禍にあって、地域活動が縮小され、社会的に弱い立場にあるひとがますます孤立化したことから、地域のつながりの重要性が改めて浮き彫りになったのじゃ。

① 地域で取り組む健康長寿のまちづくり

ひとりひとりが正しい知識をもち、それぞれのライフステージや状況に応じて、主体的に健康づくりに取り組める環境づくりを進めます。また、「新しい生活スタイル」にも対応した食育や運動等の健康づくり活動を支える地域のボランティアリーダーの育成や活動の充実を図り、区民がお互いに高め合う地域ぐるみの健康づくりを推進します。

<主要な取組>

- フレイル^{※1}対策など、健康づくりに関する情報発信、学習会の開催
- 地域の福祉団体や体育振興会が取り組む健康づくりの取組への支援
- 地域で健康づくり活動を支援するボランティアの育成

② 人権文化の息づくまちづくり

最近ではインターネット上での人権侵害や新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染者患者への差別や偏見等の新たな人権問題が顕在化しています。男女共同参画や障害者福祉の推進等をはじめとした共生社会の構築に向け、これまで行ってきた地域ぐるみの取組を一層推進することで、ひとりひとりが日々のくらしのなかでお互いを認め合い、多様性を尊重する人権文化の息づくまちづくりを推進します。

<主要な取組>

- 多様性を尊重する人権文化の構築に向けた情報発信による啓発や人権擁護委員と連携した相談体制の強化
- 青少年活動センターや男女共同参画センターと連携した若者への相談対応
- ひとと動物との共生を推進する動物愛護や飼育マナー等の普及啓発

③ 誰一人孤立させない地域づくり

ひきこもり、8050問題、生活困窮など、地域にはさまざまな理由で、生きづらさを抱えているひとがいます。誰一人孤立のない地域をめざし、地域で当事者の課題に「気づき」、「関心をもち」、「互いに認め合える」関係をつくり、地域での支え合いの充実や公的支援・サービスに円滑につながることのできる、お互いに助け合えるコミュニティづくりを推進します。また、コロナ禍で普及が進むICT（情報通信技術）を活用した支援やコミュニケーション等に対応できないひとが取り残されないよう取り組んでいきます。

<主要な取組>

- 当事者の課題への理解と意識の向上につながる啓発の実施
- 地域の福祉団体等が取り組む見守り活動への支援
- 地域における福祉活動の担い手の育成

※1「フレイル」加齢により心身が衰えた状態。ただし、早期に対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性がある。



④ 世代を超えた地域交流の促進

共働き世帯が増え、世帯人数が減少するなか、親の介護と子育てを同時に抱えるなど、複雑化、複合化する生活課題に個々の家庭だけで対応していくことは難しくなっています。地域全体で支え合う相互扶助の実現をめざし、身近な地域の顔が見える関係づくりにつながる「世代を超えた地域交流」を促進します。

<主要な取組>

- 地域における交流の場づくりや交流事業への支援
- 地域における支え合い活動の周知・啓発の推進

⑤ 支援者ネットワークの強化と連携

多様化する地域の福祉ニーズに対応するには、障害者福祉、介護、子育て等の各分野で活躍する関係者が連携していくことが重要です。中京区地域福祉推進委員会が進める「福祉のまちづくり体制整備事業」など、既存の関係者の連携を深め、ネットワークを強化するとともに、大学、企業、NPO等の多様な主体との連携、協働を促進します。

<主要な取組>

- 支援者ネットワークの強化と連携による分野横断的な支援体制の充実
- 多様な主体が連携・協働して取り組む活動への支援

⑥ 将来の担い手を育み、コミュニティをつないでいく学びの場づくり

今後より一層、地域における相互扶助が重要になってくるなか、現在の福祉的課題への対応と並行して、将来の担い手を育成していくことが重要です。子どもや若者も含めた次の世代の担い手が、当事者と出会い、課題に気づく機会をつくっていくことで、地域で育まれてきた支え合いのコミュニティを継承していきます。

<主要な取組>

- 学校や地域団体等と連携した子どもたちへの学びの機会の創出
- 地域における福祉活動の担い手の育成(再掲)



戦略2 互いに認め合い、助け合う！

「人権」や「福祉」はとても身近な問題です。女性、子ども、高齢者、障害のあるひと、LGBT^{※2}等の性的少数者、外国人等に対する差別や虐待など、さまざまな問題があります。さらに最近では、だれもが安易に書き込めるインターネット上での誹謗・中傷といった、新たな問題も起こっています。

こうした問題は「自分には関係ない」と思っているひとも多いと思いますが、**だれもが差別する側、される側のどちらの当事者にもなってしまう可能性があります。**

「差別してはいけない」ということは当たり前のことですが、なかには、誤った「正義感」や「慣習」から無自覚に差別をしてしまっている事例もあります。新型コロナウイルス感染症の拡大で社会に不安が広がるなか、防衛本能が過剰に働き、やむを得ない理由で帰省するひとやマスクをしていないひとを攻撃する「自粛警察」や「マスク警察」と呼ばれる行動が問題になりました。行動に移す前に少し立ち止まり、自分の行為がもたらす影響の大きさや相手の立場に**立って考えることのできる「想像力」をもつことができれば、こうした問題の多くは防ぐことができるのではないのでしょうか。**

人間は社会的存在であると言われています。ひとりひとりが、**日々のくらしのなかでお互いのことを知り、認め合い、助け合っていくことが大切です。社会をつくるのは、ひとりひとりの意識や行動です。だれにとっても住みよい地域を一緒につくっていきましょう。**

※2 [LGBT] レズビアン (Lesbian) ・ゲイ (Gay) ・バイセクシュアル (Bisexual) ・トランスジェンダー (Transgender) の頭文字をとった言葉で性的少数者の総称のひとつ